住生活月間事業

住教育オンラインサミット２０２１

開催報告書

一般社団法人住教育推進機構

（協力：一般社団法人全国古民家再生協会
一般社団法人全国空き家アドバイザー協議会）

はじめに

【開催背景と目的】
一般社団法人住教育推進機構は、「街」「住まい手」「造り手」の全てが満足する「持続可能な循環型建築」を目指し、住教育を通じ「住むコト」「人と人」「人とモノ・コト」「人と空間」「人と環境」などとの関わりを学び考え、実践することで、多様な価値観と出会いながら学ぶ機会を創出する機会を提供してきた。
令和2年度に見直された「住生活基本計画」にも「住教育の推進」と明記されるようになり、一層の住教育の普及が必要になっていることを認識し、一般消費者へ向け住教育の浸透を目的として開催するものである。

【実施内容】
日時：２０２１年１０月１９日（火）※住育の日 １７時から１８時３０分
会場：オンライン開催（Zoomウェビナーを使用）
費用：参加費用無料
定員：１００名　（※申し込み者数６２名）

【住教育オンラインサミット２０２1カリキュラム】
１、開催挨拶・住教育解説
　一般社団法人住教育推進協会 事務局　山名　健太

２、講師紹介

３、住教育セミナー１
　～地域と住育～
　講師：宇治野　みゆき

４、住教育セミナー２
　～住まうこと、住まいを文字から考える～
　講師：森田　勝美

５、住教育セミナー３
　～住宅の安心・安全について～
　講師：丸田　尚義

６、閉会

講師紹介

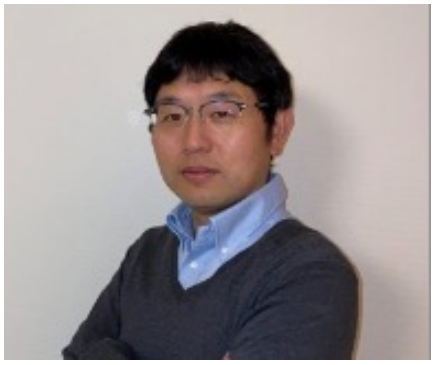
住教育インストラクター　宇治野　みゆき

「住教育」とは、一人一人の考え方を育み、
それを次の世代に伝えて行く事だと思います。
その為に今、「住まい」「住まう」コトについて、
一緒に学び、考え1つずつ行動に移して行く事で、
未来や環境にとって良い変化が起きると
私は思っています。
住教育を通して、地域との関わり方などを見直していただき、
地元・住まいに愛着をもっていただけると幸いです。

住教育インストラクター　森田　勝美

住文化や自然との付き合い方、日本の家族の在り方など
当たり前に家庭内や地域で受け継がれ続けていたものが
そうではなくなった今、人生の大半の時間を過ごす
「家」「住まい」「家と家族」について見つめ直し、
住環境・地域・住まいの伝えるべきことを次世代に繋ぐため
住教育の重要性を強く感じています。

「住まうこと」をテーマに本日お話をさせていただきます。



住教育インストラクター　丸田　尚義

地元工務店で新築、ﾘﾌｫｰﾑの設計・工事に携わり安心して
住み続けるための　ヒント、地域との関わり方等を提案してきました。
近年は実家も含めて、空き家問題を地域の課題として取り組み、
発生抑制、利用活用方法などの提案、行政との協力体制の確立等に
取り組んでいます。

本日は「安全安心な住宅」をテーマにお話させていただきます。

他講師のセミナーはオンラインサイト
でも公開中

住教育CHチャンネル

当日の様子

17時より開始いたします。開始までしばらくお待ち下さい。

主催：一般社団法人住教育推進機構
協力：一般社団法人全国古民家再生協会
　　一般社団法人全国空き家アドバイザー協議会

インストラクター：宇治野　みゆき
・住育学校　鹿児島校　学校長

「住教育」とは、一人一人の考え方を育み、それを次の世代に伝えて行く事だと思います。
その為に今、「住まい」「住まう」コトについて、一緒に学び、考え1つずつ行動に移して行く事で、未来や環境にとって良い変化が起きると私は思っています。
住教育を通して、地域との関わり方などを見直していただき、地元・住まいに愛着をもっていただけると幸いです。

インストラクター：森田　勝美
・住育学校　富山校　学校長
・富山県住まい・まちづくり計画検討懇談委員

住文化や自然との付き合い方、日本の家族の在り方など当たり前に家庭内や地域で受け継がれ続けていたものがそうではなくなった今、人生の大半の時間を過ごす「家」「住まい」「家と家族」について見つめ直し、住環境・地域・住まいの伝えるべきことを次世代に繋ぐため住教育の重要性を強く感じています。

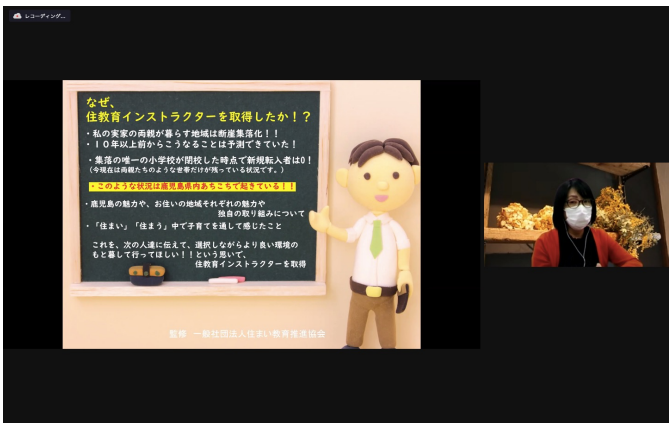
「住まうこと」をテーマに本日お話をさせていただきます。

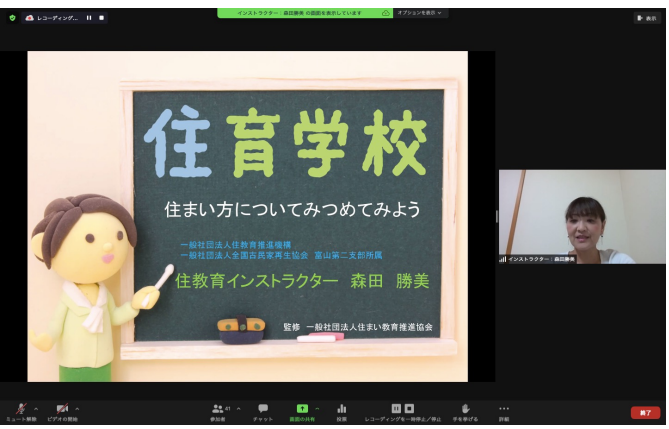
インストラクター：丸田　尚義
住育学校　岡山校　学校長
日本伝統再築士会　岡山支部長
全国伝統耐震診断連合会岡山支部　副会長

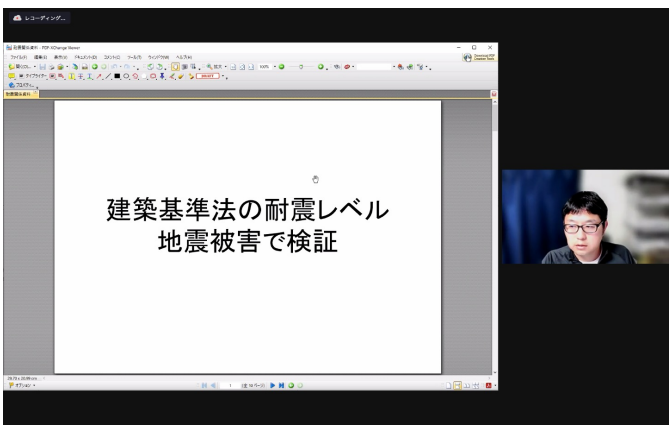
地元工務店で新築、リフォームの設計・工事に携わり安心して住み続けるためのヒント、地域との関わり方等を提案してきました。
近年は実家も含めて、空き家問題を地域の課題として取り組み、発生抑制、利用活用方法などの提案、行政との協力体制の構立等に取り組んでいます。

本日は「安全安心な住宅」をテーマにお話させていただきます。

一般社団法人住教育推進機構

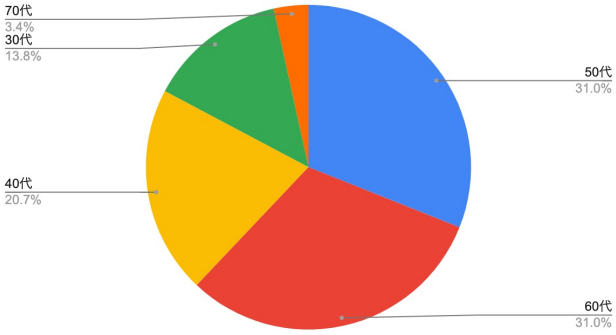




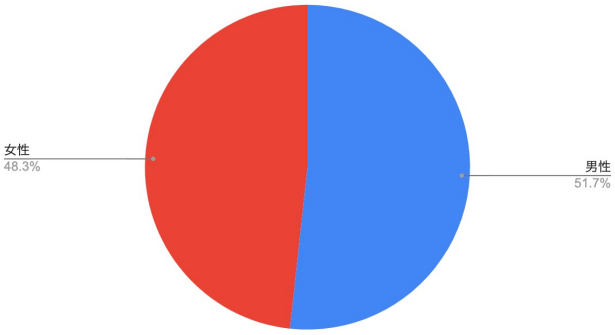


アンケート結果

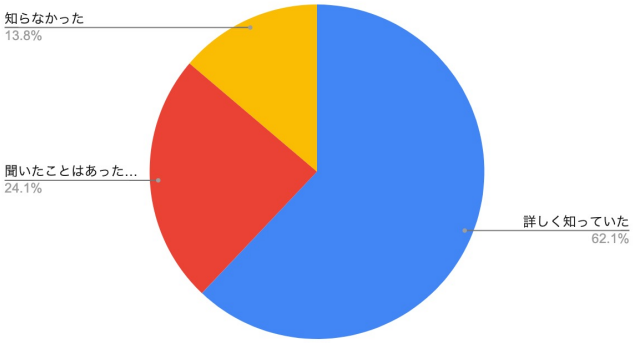
「ご年齢」のカウント数



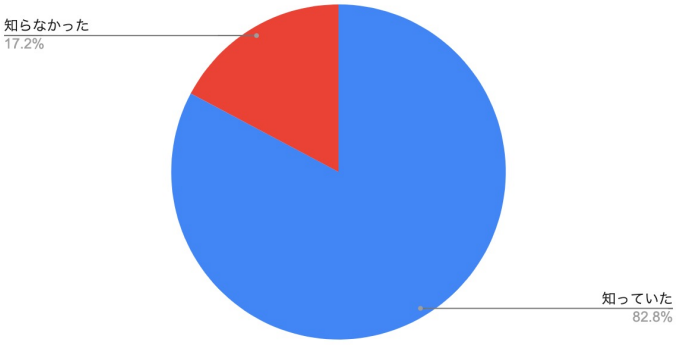
「性別」のカウント数



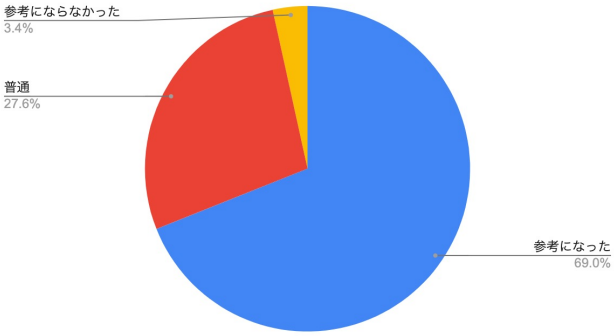
「住教育という言葉はご存知でしたか？」のカウント数



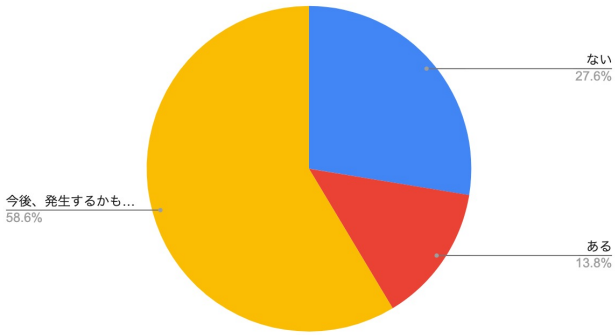
「「住生活基本計画」という計画があることはご存知でしたか？」のカウント数



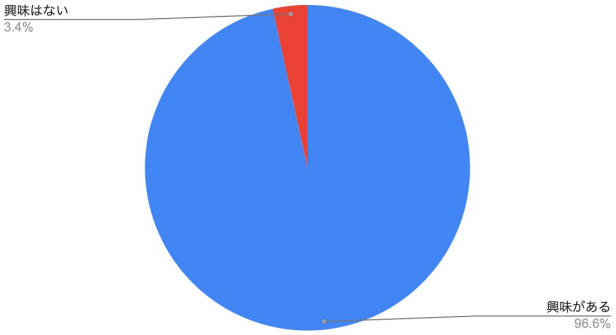
「セミナーの内容はいかがでしたか？」のカウント数



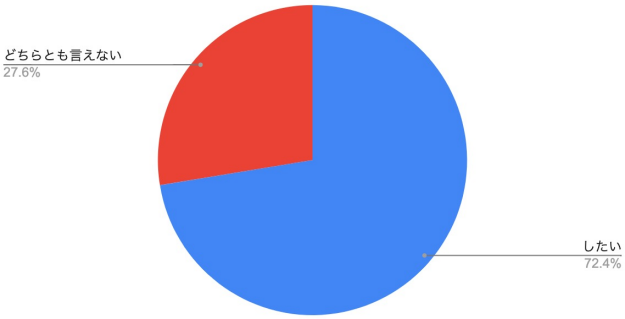
「現在、空き家等でお悩みがありますか？」のカウント数



「住教育カードについて興味はいかがですか？」のカウント数



「今後、住教育セミナーが開催される場合、参加してみたいと思いますか？」のカウント数



総括

２０２１年度、当団体は住教育オンラインサミットとは別に、オフラインでの住教育セミナーを２０箇所・オンラインでのセミナー２回開催予定である。
住教育セミナーへの参加人数は年々増加しており、住教育に対する一般消費者への興味が伺える。

住教育の普及を行う上での課題は地域によって、住教育の普及・認知度に対して格差が広がりつつあることである。住教育が行われている地域・行われていない地域に差があり、住教育が浸透していない地域に住教育を浸透させることが必要であるとの課題が浮き彫りとなった。

今回のオンラインサミットのアンケート結果を見ると、住教育に興味を持っている世代は５０代～６０代の方が最も多く、これは自身の持ち家が空き家になるかもしれない、という危機感を感じている証であると言える。実際に、「現在、空き家等でお悩みがありますか？」との質問に対しては「今後、発生するかもしれない」との回答が一番高い割合を占めた。

また、「住教育カードに興味がありますか？」という質問に対しては、９６．６％の方が「興味あり」との回答となった。住教育カードが一般消費者の、地域や空き家に対する考えを引き出すツールとして効果が期待されていることも本アンケートを通して再認識することができた。

さらに、「次回も住教育セミナーに参加したいか？」という質問には７割以上の方が「参加したい」と回答する結果となった。住教育は家づくり・メンテナンス・地域との交流など幅広観点から語られるため、本サミットの内容だけでなく、他の分野についても知りたいという思いの表れ出ると読み取ることができる。
そのため、住教育推進機構では、１０月の住生活月間だけでなく、継続して住教育に関する情報発信を今後も地域・一般消費者へ向けて行っていく必要性を認識した。